分考通信

第六号
2017年9月号
その2
文責
中　伸一

～第６４回　清水分校文化祭～

日時：１０月２９日（日）
時刻：９時～１４時１５分
場所：有田中央高校清水分校
内容：学習発表・ダンス発表・模擬店・展示発表
　　おもしろ実験等・もち投げ〈１４時〉

地域に分校をたずねる

運動会・稲刈りでインタビューアンケートを取ってくれた２年生の感想の抜粋を載せてみます。「アンケートを断られる」、「自分とは違う考えの人を知る」など色んな広がりを体験しています。いい経験となっているようです。（中）

インタビューアンケートをして

◆まとめを見ると、様々な人の反応が見て、自分とは違う考えをも持った人がたくさんいるということがわかりました。（K・H）

◆何回かアンケートを断られたりしたけど、このような経験も大切なのだなと思った。これからもアンケートをとるたびにアンケートの取り方がうまくなれればうれしいです。（S・U）

◆今私たちは分校について考えたり、地域の方々との交流も増えてきているので、この機会にもっと清水が盛り上がるように考えていきたいと思った。（R・T）

◆普通科以外の科を作ったり、スクールバスの手配をしたらという意見があった。地域の方々も分校が存続してほしいと思ってくれているんだと改めて思えた。（R・O）

◆今の清水全体も清水分校も人数はかなりへってきて少子高齢化がやばいけど、分校では、人数が少ないからこそできることがある。昔は人数も多くまとまりがなかったけど今ならみんながまとまろうと団結できたら何か一つでもやれることがあるんじゃないかなって思った。（A・T）

９月１３日（水）１年生現代社会の授業として議会傍聴に行きました。３名の生徒の感想（抜粋）を載せてみます。

事前学習のために、議会事務局さんより頂いた有田町議会広報「かわら版」の第３５号に清水分校のカレー甲子園の写真が、第４２号に路線バスの継続の質問が、第４３号に清水分校にもっと志願者がくる学校にとの質問がされていることにビックリしました。

議会事務局さんにはお世話になりありがとうございました。（中）

有田川町議会を傍聴して

◆去年の子ども議会から約一年ぶりにあの場所へ入りました。独特な空気感というのは変わっていませんでした。傍聴席から見るのは初めてで去年とは違う視点でした。自分たち以外に傍聴していた人たちは少なかったのでもっと多くの人にも議員さんたちの姿勢を見てほしいと思いました。（S・H）

◆今回議会を傍聴して、看板の変更など少しのことにでもしっかりとした話し合いがされていることに感心しました。（K・O）

◆高齢者の一人ぐらしの人が多くなっている今、週に一回の行政の方の訪問は高齢者の方にとって、幸せのひとつになると思うのでこれからも続けてほしいと思った。（R・T）

高齢者福祉センター訪問

９月１３日（水）２年生５名、３年生５名で、高齢者福祉センターを訪問し、高齢者の方々とフラワーアレジメントや折り紙を一緒に行い、交流しました。

普段、見られない生徒の顔があり、みなさんの笑顔がありました。高齢者の方々と触れあう機会も少ない生徒には、貴重な体験ができたことだと思います。

毎年、この訪問を楽しみにして待っていてくれるのが嬉しいです。今後も続けていきたいです。

和歌山県高等学校生徒会連絡協議会平成２９年度夏期ゼミナールが７月３１日～８月１日に高野山で開かれました。本校から生徒会２名が参加しました。発表名は「本校の生徒会活動」でした。

発表があると聞いたので「分校を考える」の立場から簡単なアンケートをお願いしました。大変積極的に答えてくれました。「清水分校を知っていますか」の問いに知っているが７校で、知らなかったが１３校には少し残念でしたが、「地域との交流が多く、いいなあと思った」とか「継続している事が、つながり・根付き・大切さを感じる」などと、本校の取り組みがたいへん好感持たれていることが分かりました

取り組んだ行事では、色々な問題もあったことだと思いますが、済んでしまえば生徒一人一人が楽しく取り組めたのではないでしょうか。取り組みが間違っていないことを実感できたのではないでしょうか。先輩達が創ってくれた、これらの行事を継続していくことが大切ではないでしょうか。又知らず知らずのうちに生徒一人一人の力量が付いているのではないのかな、と思いました。（中）